

リリースノート

Trimble Access 2026.10 ソフトウェア

Trimble® Access™ソフトウェアのバージョン2026.10は、2026年6月から利用可能です。

本リリースでの変更点

このリリースのTrimble Accessソフトウェアには、次の変更点が含まれています：

新機能および機能強化

BIMファイル用フィルタツール

The **Filter** tool introduces a search-based workflow that replaces the previous selection-only method. You can now instantly isolate specific components by querying a model's properties and attributes - for example, to quickly locate a specific welding plate on a large I-beam. You can also now instantly isolate a specific part of a object, for example highlighting specific welds within a frame model by ID number or property value.

- すべてカテゴリを使用するとモデル内のすべてのプロパティを検索できます。または、材質、パイプ径、アセンブリマークなどの特定カテゴリに検索を限定することもできます。
- モデルレビュー中に特定の属性に星を設定して、お気に入り検索として保存し、繰り返し作業に活用できるようになりました。
- Once a **Filter** is applied, the map automatically hides non-matching objects, leaving only relevant items visible for stakeout or inspection.
- このツールは3D MapviewのBIMツールバーから直接アクセスできます。

以下の画像は、フィルタツールを使用してオブジェクトの特定部分を選択する方法を示しています。例えば、フレームモデル内の特定の溶接部をID番号やプロパティ値でハイライト表示できます。



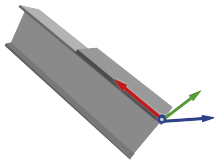
詳しくは、[Trimble Accessヘルプ](#)のトピック「**プロパティを使用したBIMモデルの絞り込み**」をご参照ください。

ユーザー座標系と偏差チェック

主に製作現場向けに設計されたこの新しいワークフローでは、機器ではなく対象物自体を基準とした「出来形対設計」のフィードバックが可能になります。これにより、恒久的な溶接前に大型部材を高精度かつ反復的に調整できます。

以下の画像は、梁の溶接作業時に精度向上のためにユーザー座標系 (UCS) を配置する実用例を示しています。UCSは、Trimble Accessに表示される一時的かつ移動可能なグリッドを有効にし、原点を梁の角に設定してX軸をその長さ方向に合わせることで、独自の「基準中心」として機能します。

注意 - 注意 - The stakeout deviation check and user coordinate system features are available with the **Object Oriented Setup** software option. To purchase a license, contact your local Trimble Distributor.



- You can now set a temporary, movable grid by defining an **Origin** (0,0,0) and orientation using **Points**, **Lines**, **Manual coordinate entry**, or by loading a previously saved UCS.
- When measuring elements like bolt holes or plates, you now receive immediate delta values (Delta X, Delta Y, Delta Z) relative to the UCS.
- 部材が厳しい許容範囲を満たしているかを確認するため、マップには対象物に対する移動方向が表示され、機器基準測定でよく発生する「方向の問題」が解消されます。
- リストからポイントを確認する際、機器は選択した位置に対して自動的に旋回し、ターゲットまたはレーザーを追尾できるようになりました。

詳細については、[Trimble Accessヘルプ](#)のトピック「**測設偏差チェック**」をご参照ください。

中心点と半径を使用した円のキー入力

マップから円をキー入力できるようになりました。マップ上で中心点として使用する点を選択し、長押しメニューから円をキー入力を選択します。半径を入力し、必要に応じて開始測点および測点間隔を入力します。

この機能は円弧をキー入力フォームからも利用できます。中心点と半径法を選択します。

機能強化

Project and job enhancements

- Trimble Access 2026.10を使用してクラウドプロジェクトを初めてダウンロードする際、単位、測量計算設定、ポイントおよび画像の命名規則など、座標系や特徴ライブラリに含まれないプロジェクト設定用のテンプレートファイルを選択するよう求められます。
選択したテンプレートはすべてのクラウドプロジェクトに使用されます。使用するテンプレートを変更する、またはクラウドプロジェクトのダウンロード時に再度プロンプトを表示させるには、**クラウド設定画面の追加設定グループボックス**を使用します。
- Trimble Connectからプロジェクトをダウンロードする際、サイトキャリブレーションおよびカスタム座標系のすべての詳細が正しくダウンロードされるようになりました。プロジェクト座標系がカスタムまたはサイトキャリブレーションとして定義されている場合でも、ソフトウェアは警告を表示しなくなりました。なお、クラウドプロジェクトでは現在、**縮尺係数のみ**の座標系はサポートされていません。
- ジョブの現在の座標系設定が**座標系の選択**画面に表示されるようになり、誤って変更することなく簡単に確認できるようになりました。
- We have added a warning when downloading a job from Trimble Connect that will overwrite a job on the controller.

This scenario can occur when multiple field crews have downloaded the same job. If this happens it is important that only one crew is adding data to the job. You should always upload the active job to Trimble Connect. Do not allow the active job to be overwritten by another version of the job from Trimble Connect.

The new warning appears as "Please confirm: Downloading <jobname> will overwrite the file on your controller of the same name. All data in the local file will be lost and cannot be recovered if you continue. Overwrite?".

- Tap **No** to cancel the download and avoid overwriting the job.
- Tap **Yes** to overwrite the file on the controller with the version of the job from Trimble Connect.

ポイント測設の機能強化

- 測設リストの上部に**並べ替え**フィールドが追加されました。**追加された順**、**名前**、**最短パス**、または**カスタム**で並べ替えできます。

注意 - 注意 -最短パスは、測設リストにポイントのみが含まれる場合にのみ使用できます。

- ポイント間の移動時間を最小限にするため、**測設項目**リストを**最短パス**で並べ替えると、Trimble Accessソフトウェアがポイント間の最短距離に基づいてリストを並び替えます。
- **一番近い地点**機能は、現場内を移動する際に動的に更新されるようになり、現在位置に基づいて**測設項目**リスト内の最も近いポイントへ常に誘導されます。
- **測設項目**リスト内の項目をドラッグ&ドロップして並べ替えできるようになりました。リスト内の項目を移動すると、リスト上部の**並べ替え**方法は**カスタム**に変わり、マップビューが更新されて現場でのカスタム経路を確認できます。
- 測設ワークフローから不要な手順を削除しました。測定値を保存すると、ソフトウェアはリスト表示に戻るのではなく、自動的に**測設項目**リスト内の次のポイントへナビゲートします。

ライン、円弧、およびポリライン測設の機能強化

- 測設方法リストを簡素化するため**線上の測点に測設法を測点 / オフセット指定法**に統合しました。ライン、ポリライン、または円弧**上**の測点に測設するには、**オフセット**フィールドを0に設定します。

マップ機能強化

- Trimble Accessソフトウェアで、測設されたポイントが必要な測設許容値を満たしているかどうかを示すように、マップ上のポイントに色を設定できるようになりました。これを設定するには、**マップ設定画面のカラー測設記号グループ**ボックスで、**水平許容値**や**鉛直許容値**の値を入力します。許容範囲内のポイントは緑色で表示され、許容範囲外のポイントは赤色で表示されます。
- 混雑したマップ領域の表示を最適化するため、**マップ設定画面**で**ライン名**と**ラインコード**を個別に表示または非表示にできるようになりました。視認性向上のため、従来の**名称**および**コード**設定は、それぞれ**ポイント名**および**ポイントコード**に名称変更されています。
- 背景図データにウェブマップを使用している場合、サービスからの更新を確認し、適用できるようになりました。これを行うには、ウェブマップ画面を開き、設定済みのウェブサービスを選択してから**テスト**をタップします。

詳細については、[Trimble Accessヘルプ](#)のトピック**マップ設定**をご参照ください。

レイヤーマネージャーの機能強化

- プロジェクトフォルダのサブフォルダ内にジョブと設計ファイルを保存してプロジェクトデータを管理している場合、**プロジェクト画面のプロジェクトデータ**ページに一覧表示されているファイルに加えて、現在のジョブと同じフォルダ内の設計ファイルも**レイヤーマネージャー**に表示できるようになりました。これを行うには、**オプション**をタップし、**現在のジョブフォルダ内のプロジェクトデータを表示**オプションを選択します。

このオプションを選択すると、**レイヤーマネージャー**に表示される設計ファイルは、別のフォルダのジョブを開いた際に自動的に更新されます。

- **自動更新**ソフトキーは、**ファイル選択時にマップを更新**という名称のオプションになりました。

このオプションは初期設定で有効のままとなっており、**レイヤ管理**で行った変更はマップおよびビデオ画面に自動的に反映され、**レイヤ管理**を承認またはEscキーで終了しても保持されます。このオプションを無効にするには、**レイヤーマネージャー**を開いた状態で**オプション**をタップします。

- お客様からのご要望にお応えし、**レイヤーマネージャー**の**プロジェクトデータタブ**に**更新日列**を再追加しました。これにより、最終更新日時でファイルを並び替えることができます。

インポートおよびエクスポートの機能強化

- Trimble Accessのジョブにファイルをインポートする際、クラウドプロジェクトで作業しておりコントローラがインターネットに接続されている場合、**ファイル名**フィールドの横にあるをタップすると、Trimble Connectからファイルを選択できるようになりました。
- ジョブからエクスポートされたファイルは、初期設定で<ジョブ名> **Files**フォルダにエクスポートされるようになりました。別のフォルダを選択すると、そのフォルダが次に別のフォルダを選択するまで、すべてのエクスポートの初期設定保存先として使用されます。デフォルトの保存先に戻すには、再度<ジョブ名> **Files**フォルダを選択します。
- ESRIシェープファイルにエクスポートする際、写真を含めることができるようになりました。ジョブ内のフィーチャに添付された写真を含めるには、**Zipに写真を含める**チェックボックスを選択します。

距離 - 距離交会による点計算で鉛直オフセットに対応

距離・距離交点によるポイント計算の測量計算法を強化し、鉛直オフセットに対応しました。

計算時に、ポイント1、ポイント2、または両方のポイントからの**鉛直距離**を定義できるようになりました。

鉛直距離が1つのみ指定された場合、新しい点はその参照値で補正された高さを継承します。鉛直距離が2つ指定された場合、新しい点には両方の補正参照値の平均高さが割り当てられます。

鉛直オフセットはJXLに保存され、エクスポート (Pregeoなど) 時に自動適用されるため、高さコードの手動後処理が不要になります。

計測した距離に関する機能強化

JXL (Job XML) ファイル形式を強化し、建設測定におけるフィールドからオフィスへのワークフローをより適切にサポートできるようにしました。テープ測距の閉合差をジョブファイル内に直接保存することで、他のソフトウェアでもこの情報を使用できるようになりました。

属性編集の改善

属性の更新時に、保存されている属性と特徴コードライブラリとの間に不一致がある場合 (WFSやSHPファイル使用時に発生する可能性があります)、不一致の属性のみ編集できなくなりました。特徴コードライブラリと一致する属性は編集可能です。

特徴ライブラリファイルにおける追加の自動属性

Trimble Access2026.10では、Feature Definition Managerバージョン9.6で作成された特徴ライブラリファイル内のポイント特徴タイプに追加された自動属性に対応しました。ジョブ内で特徴を計測または操作する際、その特徴タイプに割り当てられた自動属性が、測定済みポイントや計算データから自動的に入力されます。

ポイント特徴タイプで新たにサポートされる自動属性は次のとおりです: **デバイス**、**デバイスのシリアル番号**、**衛星数**、**エポック数**、**補正ソース**、**補正ステータス**、**推定精度**、**推定鉛直精度**、**PDOP**、**HDOP**。

これらの属性はTrimble AccessおよびTrimble Business Centerでは読み取り専用です。ポイントまたは特徴が変更されると値が再計算されます。

Trimble Accessは最後に使用したターゲットで開始されます

トータルステーション測量を開始すると、Trimble Accessは最後に使用したターゲットをデフォルトで選択するようになりました。以前は常にターゲット1が選択されていました。

GeoLockの機能強化

GeoLockは、ジョイスティック、マップ、またはビデオで旋回を開始すると一時停止します。GeoLockは、旋回完了から15秒後に自動的に再開されるようになりました。

GNSS測量スタイルでの信号追跡

To make it easier to use only one GNSS survey style with multiple GNSS receivers that have different GNSS constellation tracking abilities, Trimble Access no longer changes the **GNSS Signal Tracking** settings when the antenna type is changed. Instead, Trimble Access 2026.10 enables tracking of only the GNSS constellations and signals that are supported by the selected GNSS antenna when a survey is started.

Previously, Trimble Access would disable tracking of GNSS constellations that were not supported by the selected GNSS receiver. This would result in sub-optimal tracking settings when a more capable GNSS antenna type was selected and tracking of now-supported GNSS constellations remained disabled.

GNSS測量におけるポイント測定オプション

用語およびポイント測定オプションのレイアウトを改善しました:

- 従来 **チルト** と呼ばれていたグループボックスは、ポールが鉛直であることを確認するためにeBubbleを使用する際の項目であることを明確にするため、**eBubble** に名称変更されました。IMU搭載のGNSS受信機では、これはIMUが無効または位置合わせされていないときに該当します。
- 自動測定** チェックボックスは、**eBubble** グループボックスには含まれなくなり、画面上部付近に表示されるようになりました。

この変更により、**自動測定** オプションがより分かりやすくなり、eBubbleを使用しない場合でも**自動測定** 設定がIMUチルト補正測定にも適用されることが示されます。

GNSS測量における電離層活動レベル

接続されているGNSS受信機がTrimble IonoGuardテクノロジーに対応している場合、位置画面の**電離層活動レベル**アイコンに、検出された電離層活動のレベルとIonoGuard情報の算出方法が表示されます。

詳細については、[Trimble Accessヘルプ](#)のトピック「**現在位置情報**」をご参照ください。

GNSSアンテナ高はAPCを基準とするようになりました

Trimble Accessソフトウェア全体で、**アンテナ高(真)** は、ポール下端からアンテナ位相中心までの補正された高さであることをより明確にするため、**アンテナ高(APC)** と表記されるようになりました。

この補正された高さには、アンテナマウント下端またはクイックリリース下端まで測定した際に入力した高さ値に対してソフトウェアが自動適用するオフセット値が含まれます。

RTCM座標系メッセージ

Trimble Accessは、受信機のインターネット接続を使用して、RTCM v3.4のタイプ1300および1302メッセージからRTKネットワークまたは基準局の座標参照系(CRS)の読み取りをサポートするようになりました。現在のジョブのグローバル座標系がこれらのRTCMメッセージで受信したサービスCRSと一致しない場合、警告メッセージが表示されます。

CMRx座標系メッセージ

Trimble Accessは、Trimble CMRxメッセージからRTKネットワークまたは基準局の座標参照系(CRS)の読み取りをサポートするようになりました。現在のジョブのグローバル座標系が、CMRxメッセージで受信したサービスCRSと一致しない場合、警告

メッセージが表示されます。

座標系データベース更新

Trimble AccessとともにインストールされたTrimble座標系データベースには、次の機能強化が含まれています。

- ギリシャ向けのGR_HEPOS2011ジオイドモデルが追加されました。
- インドネシア向けにSRGI2013(2021.0)のUTMゾーンを15追加しました。
- ドミニカ共和国向けにSIRGAS-ITRF2008エポック2016.434測地系を追加しました。
- ノルウェーのスバル諸島向けにSVD2024鉛直基準を追加しました。
- 韓国向けにKNgeoid26ジオイドモデルを追加しました。
- カナダ向けにSGEIOD2022-beta2を伴うNATRF2022(CSR)近代化基準フレームのベータ版を追加しました。
- チリ向けにREDGEOMIN 2024測地系およびゾーンにISO識別子を追加しました。
- カリフォルニア州ゾーン1～6向けにCSRN2025(NAD83 2011)からCA SRSエポック2017.50へのグリッド変換を追加しました。
- トルコ向けにローカル速度モデルおよびITRF2020からTUREFへの変換を含むTUREF測地系を追加しました。
- ルーマニア向けに新しいジオイド2025.09およびシフトグリッドを使用した新しいStereo 70ゾーン(ROMGEO)を追加しました。
- ニューカレドニア向けにRGNC 2015のサポートを追加し、RGNC 2015とRGNC91-93間のグリッド変換によりRGNC91-93のサポートを改善しました。
- イタリアの変位モデルを更新し、European Dense Velocitiesプロジェクトの改善された速度データを使用して、ランペドゥーザ島およびペラギエ諸島まで対応範囲を拡張しました。
- EGM 2008インドジオイドを全域対応バージョン(EGM 2008 Full India)に更新しました。
- フランスの旧NTF LambertゾーンのEPSGコードを修正し、Esri / FME相互運用エイリアスを追加しました。
- フィンランド(EUREF-FIN)、フランス(RGF93 v2b)、英国(OSGB36)、ベルギー(Datum 72)、チュニジア(Carthage)におけるEsriおよびFME相互運用エイリアスを改善しました。
- プエルトリコ / NAD83ゾーングループを廃止としてマークしました。

スロバキア語音声メッセージ

Trimble Accessでは、Trimble Installation Managerを使用してスロバキア言語パックをインストールすると、スロバキア語の音声メッセージが提供されるようになりました。

New training material

Pipelines tutorial

A new Trimble Access パイプライン tutorial is now available from the [Sample data](#) page in the **Downloads** area of the Trimble Access Help Portal. This tutorial includes detailed instructions and sample data to test the complete workflow from creating a pipelines project in Trimble Sync Manager, pipelines tally and joint mapping, surveying the pipeline, report generation and additional pipelines features.

解決された問題

- **クラウドプロジェクト** : クラウドに保存されているプロジェクトを使用する際に発生する以下の問題を修正しました。Trimble Connect
 - **プロジェクト画面** または **ジョブページ** で **更新** ボタンをタップすると、クラウド上のプロジェクト座標系に対する更新がソフトウェアに反映されるようになりました。
 - クラウドプロジェクトを離れ、データコレクタから削除すると、プロジェクトはプロジェクトリストから直ちに削除され、プロジェクトがユーザーに再割り当てされた場合にのみコントロールに再度ダウンロードできるようになります。
 - Trimble Accessをサブスクリプションで使用している場合、別のユーザーがTrimble Accessにサインインすると、ソフトウェアは直ちにそのユーザーのプロジェクト権限を確認し、ユーザーにアクセス権のないプロジェクトをロックするようになりました。以前は、権限確認はプロジェクトリストが更新されたとき、またはリストが閉じられて再度開かれたときにのみ行われていました。
 - プロジェクト画面の**プロジェクトデータ**タブからファイルをアップロードする際、アップロード中であることを示すアイコンが表示されるようになりました。
- **未対応の投影レコード** : ジョブファイルに**未対応の投影レコード**が含まれることがあった問題を修正しました。この**未対応の投影レコード**は、プロジェクトテンプレートで座標系が設定されていない場合に、テンプレートから最初に作成されたジョブで発生していました。
- **測地ファイルのダウンロード** : 測地ファイルのダウンロードに関する以下の問題を修正しました。
 - 複数の測地ファイルをダウンロードする場合にダウンロードが失敗する問題を修正しました。
 - シフトグリッドファイルが**シフトグリッドファイル**一覧に表示されず、ダウンロードされない問題を修正しました。
- **非表示の座標系が表示されるCustom.csd** custom.csdファイルで非表示に設定されている一部の座標系がTrimble Accessソフトウェアに表示されていた問題を修正しました。
- **プロジェクト単位** : 新しいプロジェクトを作成する際に、選択した単位が常に保存されず、プロジェクト設定画面に**単位: 未設定**と表示されることがあった問題を修正しました。
- **Web Feature Services (WFS)** : Web Feature Service使用時の以下の問題を修正しました。
 - Web Feature Serviceからレイヤを要求すると、一部のレイヤで「400: 一部のレイヤに対する不正な応答エラー」が返されることがありました。
- **Web Map Services (WMS)** : Web Map Service使用時の以下の問題を修正しました。
 - URLに特殊文字を含むWeb Map ServiceにTrimble Accessが再び接続できるようになりました。
 - Web Map Serviceが自動更新された場合でも、Web Map Serviceを編集して**座標系**一覧から必要な座標系を選択できるようになりました。
- **ESRIシェープファイルのエクスポート** : シェープファイルに時間属性がnullとして書き込まれていた問題を修正しました。
- **エクスポートフォルダの選択** : エクスポート先フォルダを選択する際に、30ファイルを超えるファイルを含むフォルダを選択できなくなる問題を修正しました。
- **DXFテキスト** : マップ上でDXFファイル内の一部のテキストレイヤーをオフにできない問題を修正しました。この問題はTrimble Access 2025.20で発生していました。
- **共有コードを持つラインのラインスタイル** : **測定コード** または **テープ測距** を使用する際、ポイントと同じコードでコード化されたラインがマップ上で正しいラインスタイルを使用していなかった問題を修正しました。
- **測定コード属性** : **測定コード** を使用してラインを作成する際、既存ポイントを選択すると、測定ポイントで設定した属性が作成されたラインに適用されない問題を修正しました。

- **円弧を含むキー入力ポリライン:** 大きな平行移動を含むサイトキャリブレーションが設定されたジョブで、円弧を含むポリラインが正しく処理されない問題を修正しました。
- **ノルウェー地籍許容値:** Norwegian CadastralTolerances.xmlファイルをジョブに読み込むと、Trimble Accessソフトウェアのパフォーマンスに問題が発生していた不具合を修正しました。
- **R980無線設定:** 移動局専用のR980受信機で周波数帯域を450Mhzから900Mhzに変更すると、ソフトウェアに「無線を設定できません」というメッセージが表示されることがあった問題を修正しました。
- **RTK VRS測量:** ベクトル保存時に測量開始時にジョブファイルへ書き込まれるVRS位置およびIDを含むメモにPRS座標が記録されていた不具合を修正しました。現在は正しくVRS座標が記録されます。
- **OmniSTAR通信エラーメッセージ:** 接続されたGNSS受信機がOmniSTARに対応していない場合に受信機設定画面を開こうとすると、ソフトウェアがOmniSTAR通信エラーメッセージを表示する問題を修正しました。現在はソフトウェアが正常に受信機設定画面を開き、OmniSTARのステータスを正しく表示します。
- **Roads precise elevation:** We have fixed an issue when measuring a road with **Precise elevation** enabled, where the connection to the total station would intermittently drop out when storing a point.
- **Autolock search window:** If the job units are set to Gons, the minimum search window value of 2.2222 is now accepted.
- **FOCUS 35:** We have fixed the following issues when using the FOCUS 35 total station:
 - When using Trimble Access on a controller running Android it was not possible to connect to a FOCUS 35 using Bluetooth. This issue affected all controllers running Android except the TDC6.
 - When connected to a FOCUS 35 there was an issue where most prism options were not available.
 - The **Adjust** item was not available from the **Instrument** menu.
 - The default Autolock VA search window for the FOCUS 35 has been restored to 5°. In Trimble Access 2025.20 the default value changed to 2°, which prompted a warning this was unacceptable for the FOCUS 35.
- **EDM120設定:** Empower EM120モジュールの無線設定更新時に、Androidコントローラで設定が反映されるまで最大20秒遅延する問題を修正しました。
- **USBドライブファイルの最終更新日時:** コントローラに接続されたUSBドライブ使用時に、ファイルの最終更新日時が正しく表示されない問題を修正しました。
- **日付 / 時刻形式:** Trimble Access 2025.00で発生した問題を修正し、日付と時刻の書式設定時にコントローラのオペレーティングシステムのロケールが使用されない不具合を解消しました。
- **角度単位ミルの翻訳:** 角度単位ミルの翻訳に関する問題を修正しました。距離単位と同様に「mils」またはミリメートルとして誤って翻訳されていました。この不具合はいくつかの言語に影響していました。
- **Trimble Accessの終了:** AndroidコントローラでAndroidホーム画面からスワイプしてアプリを終了した場合でも、測量終了およびジョブ終了時のデータ整合性を確保するための改善を行いました。

注意 - 注意 - Trimbleでは、必ず最初に測量を終了し、その後Trimble Access内からソフトウェアを終了することを推奨します。ソフトウェアを終了するには、Trimble Accessで☰をタップして**終了**を選択するか、コントローラキーパッドで**Ctrl + Q**を押します。

- **Software slowdown:** We have fixed an issue with software performance, particularly when measuring points with feature codes from a library, Trimble Access became noticeably slower in larger jobs with a significant number of points..
- **.tmp files in project folder:** We have fixed an issue where .tmp files temporarily created in the project folder were not removed by the software when they were no longer needed.

- **アプリケーションエラー:** ソフトウェアを使用したり閉じたりする際にアプリケーションエラーを時折発生させる幾つかの問題を修正しました。とりわけ:
 - 一部のレイヤーに予期せず子ノードが含まれていない状態で、Web Feature Serviceレイヤーを操作しようとした際に発生していた問題。
 - メインのTrimble Dataフォルダ外にあるファイルを含むプロジェクトデータをアップロードした後、**レイヤマネージャ**でファイルの選択を解除する際の問題を修正しました。
 - When zooming and panning in the map if the **Vertical exaggeration** setting was higher than 1.0.
 - 以前に**Refline**器械点設置を実行した後、**前回をコピー**を使用してからラインの杭打ちを行おうとした際の問題を修正しました。
 - リンクファイル内の円を測設する場合。
 - 自動属性を持つコードが設定された測設ポイントを保存する場合。
 - ジョブを開く際に、カメラ位置に関する不要なメッセージが表示されることがありました。

サポートされている機器

Trimble Accessソフトウェアのバージョン2026.10は、下記のソフトウェアおよびハードウェア製品との通信に最適です。

注意 - 注意 - 最高のパフォーマンスを維持するため、ハードウェアには常に使用可能な最新のファームウェアをインストールしてください。

最近のソフトウェアおよびファームウェアバージョンに関する詳しい情報は、[Trimble地球空間ソフトウェアおよびファームウェアの最新リリース文書](#)をご参照ください。

サポートされているコントローラ

Windows端末

Trimble Accessソフトウェアは、Windows® 11またはWindows 10オペレーティングシステムを搭載している以下のTrimbleコントローラにインストールできます:

- TrimbleTSC7コントローラ
- TrimbleT110、T100、T10x、T10、T7タブレット
- 対応サードパーティー製タブレット

サポートされているサードパーティー製タブレットの詳細については、**Trimble Access ヘルプポータル**の[サポート 公示](#)ページからダウンロードできるサポート 公示 **Trimble Access on 64-bit Windows 10 & 11**を参照してください。

Android端末

Trimble Accessソフトウェアは、以下のAndroid™端末上で実行されます:

- Trimble TSC710コントローラ
- TrimbleTSC510コントローラ
- TrimbleTSC5コントローラ
- Trimble TDC6ハンドヘルドデータコレクタ

- Trimble TDC600ハンドヘルドデータコレクタ
- TrimbleTCU5コントローラ

ヒント - ヒント - Trimble Accessは、**TDC6およびTDC600ハンドヘルドの、縦長モードと横長モードの両方**で使うことができますように設計されています。縦長画面およびAndroid OSを使用できるようにするためにユーザインターフェースが多少異なっています。詳細については、[Trimble Accessヘルプ](#)のTrimble Accessワークスペースのトピックを参照してください。

サポート対象の一般機器

Trimble Accessを実行中のコントローラに接続可能な従来型機器は以下の通りです:

- Trimbleスキヤニングトータルステーション: SX12、SX10
- TrimbleVX™ スペーシャルステーション
- TrimbleS Seriesトータルステーション: S9、S7、S5 と S8、S6、S3
- Trimble機械式トータルステーション: C5、C3、M3、R4、M1
- TrimbleSPS Seriesトータルステーション
- Trimble RTS Seriesトータルステーション
- Spectra® Geospatialトータルステーション: FOCUS® 50/35/30
- サポート対象のサードパーティ製トータルステーション

Trimble Accessソフトウェア内で使用可能な機能は、接続された機器の型式およびファームウェアバージョンによって異なります。Trimbleでは、本バージョンのTrimble Accessを使用されるに当たって、入手可能な最新のファームウェアに機器をアップデートすることをお勧めします。

注意 - 注意 - TSC5コントローラ、TDC600モデル2ハンドヘルドとTDC6ハンドヘルドからTrimble SX10またはSX12スキヤニングトータルステーションに接続することができます。ただし、TCU5コントローラとTDC600モデル1ハンドヘルドを使用する場合、Trimble SX10またはSX12スキヤニングトータルステーションへの接続はサポートされません。

サポート対象のGNSS受信機

Trimble Accessを実行中のコントローラに接続可能なGNSS受信機は、以下の通りです:

- TrimbleRシリーズ統合GNSS測量システム:
 - 慣性測定ユニット (IMU) 内蔵: R980、R780、R12i
 - 磁力計チルトセンサ内蔵: R12、R10
 - その他のRシリーズ統合GNSS受信機: R580、R8s、R8、R6、R4、R2
- Trimble Catalyst™ GNSS測位サービス受信機: DA2
- TrimbleモジュラーGNSS測量システム: R750、R9s、NetR9 Geospatial、R7、R5
- TrimbleSPSシリーズGNSSスマートアンテナ: SPS986、SPS985、SPS985L、SPS785、SPS585
- TrimbleSPSシリーズGNSSモジュラー受信機: SPS85x
- TrimbleAlloy GNSS 基準局受信機
- TrimbleMPS566-2モジュラーGNSSヘディング受信機
- 慣性計測ユニット (IMU) 内蔵型 Spectra Geospatial GNSS受信機: SP100

- Spectra Geospatial内蔵GNSS受信機:SP85, SP80, SP60
- Spectra GeospatialモジュラーGNSS受信機: SP90m
- FAZA2 GNSS受信機
- S-Max GEO 受信機

注意 - 注意 -

- Trimble Accessで**TrimbleDA2GNSS受信機**を使用するには、有効なCatalystサブスクリプション契約があり、かつサインインしている必要があります。ユーザまたはコントローラに割り当てられているライセンスの種類は、**☰**をタップして**情報**を選択すると表示されます。詳しくは、[Trimble Accessヘルプ](#)の**Trimble Accessのインストール**のトピックを参照してください。
- Spectra Geospatial SP90m、SP85、SP80またはSP60受信機を使用する場合、Trimble Accessソフトウェアのすべての機能が使用できるわけではありません。詳しくは、**Trimble Access ヘルプポータル**の[サポート 公示](#) ページからダウンロードできるサポート 公示 **Spectra Geospatial receiver support in Trimble Access**を参照してください。

インストール情報

ライセンス要件

Trimble Access 2026.10をインストールするには、一般観測 / 基本観測アプリのほか、使用したい各Trimble Accessアプリのライセンスが必要です。

- **永久ライセンス**

永久ライセンスは、コントローラにライセンスされます。コントローラには、**1 6月 2026**まで有効なTrimble Access Software Maintenance Agreementが必要です。

- **受信契約**

受信契約ライセンスは、個々のユーザーに割り当てられます。受信契約ライセンスで使用する際、サポート対象の任意のコントローラにTrimble Access 2026.10をインストールすることができます。

既存のコントローラに永久ライセンスがあるが、そのコントローラを廃止して新しいコントローラに交換したい場合は、既存のコントローラから永久Trimble Accessライセンスを放棄して、新しいコントローラに移行できる場合があります。

詳しくは、**Trimble Access ヘルプポータル**の[ソフトウェアライセンスとサブスクリプション](#)をご参照ください。

アカウントをお持ちでない場合 ソフトウェアをお試しいただけます

必要なライセンスをお持ちでない場合は、一定期間、ソフトウェアを試すことができます。

オプションは以下の通りです:

- サインインして利用契約を使用できない場合、または永久ライセンスを購入したがコントローラにまだ割り当てられていない場合に備えて、Trimble Access用の**48時間ライセンス**を作成します。
- コントローラに有効な永久ライセンスがない場合、Trimble Accessの**コントローラーデモ版またはデスクトップエミュレーターライセンス**を作成します。このタイプの一時ライセンスは、対応WindowsおよびAndroidコントローラで利用できます。トレーニングやテスト目的で、デスクトップコンピュータ上にエミュレーターライセンスを作成することもできます。
- コントローラに有効な永久ライセンスがあるものの、試したい特定アプリのライセンスがない場合は、特定Trimble Accessアプリの**30日間の試用ライセンス**を作成します。このタイプの一時ライセンスは、対応Windowsコントローラでのみ使用できます。

詳しくは、Trimble Access ヘルプポータルの一時的ライセンスのインストールを参照してください。

Trimble Accessのインストールまたはアップグレード

ソフトウェアをコントローラにインストールするには、コントローラのオペレーティングシステムに応じて正しいTrimble Installation Managerを使用します:

- Trimble Installation Manager Windows用 
- Trimble Installation Manager Android用 

詳しくは、Trimble Access ヘルプのTrimble Accessのインストールを参照してください。

注意 - 注意 - 旧バージョンのTrimble Accessを使用して作成されたジョブ(.job)ファイルは、Trimble Accessの最新バージョンで開いた際に自動的にアップグレードされます。アップグレードされたジョブは、旧バージョンで開くことはできなくなります。詳しくは、Trimble Access ヘルプの最新バージョンのTrimble Accessで既存ジョブを使用するを参照してください。

学習リソース

Trimble Accessソフトウェアの機能とソフトウェアを最大限に活用する方法の詳細については、以下のリソースを参照してください。

Trimble Accessヘルプポータル

Trimble Accessヘルプポータルは、Trimble Field Systemsヘルプポータルの一部で help.fieldsystems.trimble.com/trimble-access/ からご覧いただくことができます。Trimble Access ヘルプのすべての内容を14言語で提供しており、Trimble Access YouTubeチャンネルの動画へのリンクも掲載されています。

Trimble Accessヘルプポータルのダウンロード領域には、以下を含む有用なリソースへのリンクを掲載しています:

- サポート 公示
- ソフトウェアとユーティリティ
- テンプレートファイル
- スタイルシート
- サンプルデータ
- リリース資料(プレゼンテーションや動画を含む)
- PDFガイド

Trimble Accessヘルプポータルは、インターネットに接続されている任意のコンピュータから、Trimble Accessソフトウェアをインストールすることなく表示できます。また、携帯電話からのアクセスや、オンボードヘルプをインストールしないことを選択した場合でも、Trimble Accessを実行しているコントローラからご覧いただくことが可能です。

Trimble Accessヘルプ

Trimble Accessヘルプは、Trimble Installation Managerで言語とヘルプファイルチェックボックスを選択すると、ソフトウェアとともにインストールされます。インストールされているヘルプを表示するには、Trimble Accessソフトウェアで☰をタップし、ヘルプを選択します。Trimble Accessヘルプが開き、Trimble Accessソフトウェアで現在表示されている画面のヘルプトピックに直接移動します。

Trimble AccessYouTubeチャンネル

Trimble AccessYouTubeチャンネルには、便利なソフトウェア機能を紹介する多数の動画があります。最近追加された機能を紹介する動画や、特定の分野を紹介するプレイリストをご覧くださいことができます。

新しい動画は定期的に投稿されるため、Trimble AccessYouTubeチャンネルページの[登録](#)をクリックして、新しい動画が公開された時に通知を受け取るようにしてください。

Trimble Accessアプリ

Trimble Accessソフトウェアスイートは、測量士や地理空間の専門家向けに、現場作業を容易にする一連の専門フィールドアプリケーションです。使いやすいインターフェース、最適化されたワークフロー、リアルタイムデータ同期により、Trimble Accessソフトウェアは、日々の作業の成果をさらに高めることを可能にします。実際の作業に最適なアプリケーションを選択することで、競争力の向上を図りましょう。

Windows端末でサポートされているTrimble Accessアプリ

以下のTrimble Access アプリは、[対応 Windowsデバイス](#)で本バージョンのTrimble Accessを実行する際にサポートされています。

- 道路
- トンネル
- 探掘 鋤
- Land Seismic
- パイプライン
- Power Line
- Katastermodul Deutschland
- モニター
- AutoResection
- BathySurvey

Android端末でサポートされているTrimble Accessアプリ

以下のTrimble アプリは、[対応 Androidデバイス](#)で本バージョンのTrimble Accessを実行する際にサポートされています：

- 道路
- トンネル
- 探掘 鋤
- パイプライン
- Power Line
- Katastermodul Deutschland
- モニター

- AutoResection
- AllNAV Rounds

注意 - 注意 - サポートされているTrimble Accessアプリへの変更は、リリース後に変更される可能性があります。最新の情報、またはTrimble Accessの旧バージョンでサポートされているアプリケーションの詳細については、Trimble Field Systems ヘルプポータルのTrimble Accessヘルプの[サポート 公示](#) ページからダウンロードすることができるサポート 公示 **Trimble Access App availability**を参照してください。

法的情報

Trimble Inc.

www.trimble.com

Copyright and trademarks

© 2026, Trimble Inc. All rights reserved.

Trimble, the Globe and Triangle logo, ProPoint, Spectra, and Trimble RTX are trademarks of Trimble Inc. registered in the United States and in other countries. Access, IonoGuard, VISION, and VX are trademarks of Trimble Inc.

For a complete list of legal notices relating to this product, go to help.fieldsystems.trimble.com/trimble-access/ and click the **Legal information** link at the bottom of the page.